

# 令和2年11月7日(土)秋葉三尺坊火渡大祭

17:00～受付開始（竜王殿にて）

18:30～法院師作法奉修 点火、火渡り(火渡道場にて)

重林寺境内にあります、秋葉三尺坊守護の由来は、明治初年よりこの地区、特に大宮御殿町地区や阿幸地地区あたりに毎年のように続く大小の火災や失火にまでさかのぼります。

この地区にも消防施設や、消防団が存在したにも関わらず、火災の火難からはなかなか免れることができませんでした。時の重林寺第17世 古屋純考和尚は、近隣の人々と相談して、町村有志、遠くは沼津・原・清水・焼津方面の特信者に浄財を仰ぎ、遠州袋井可睡齊秋葉三尺坊総本殿より御真霊の分霊を迎え、当時の重林寺（富士宮市御殿町1291番）にお祭りし、火難をなくすため努力しました。明治20年（1887年）11月15日が第1回開光供養式でありました。その甲斐あって、その後、この地に大火災の発生はありませんでした。昭和62年（1987年）に100周年を盛大に執り行いました。

近年、火渡を修行できる道場は減少しており、重林寺境内において体験できることは貴重なことであります。

火の用心をはじめ、火渡をするとその後1年風邪をひかずに過ごせるなどの御利益があるとも言われています。今年は無曾有の出来事に翻弄される1年となりましたが、厄疫退散の意味も込めて火渡をご修行いたしましょう。

火渡は受付にて護摩木に願い事を記入の上ご参加下さい。

護摩木に記入する願い事の例

福寿無量 身体健全 諸災消除 家業繁栄 家道興隆 商売繁昌 交通安全 学業成就  
世界平和 など

また、感染症対策のため受付にてお名前とご連絡先のご記入にご協力下さい。



古塔婆、仏具、位牌等のご供養、焼却も修行いたします。詳細はお問合せ下さい。

重林寺秋葉三尺坊大祭実行委員会  
秋葉三尺坊奉賛会